

くるまのざつがく

CAR TRIVIA

このコーナーではクルマに関する
為になる雑学をご紹介します。
意外と知らないことがあるかも!?



1 洗車やワックスがけで発生するヘアースクラッチ

クルマを洗ったりワックスがけをしたりすることは、スポンジやタオルなどでボディをこすることになります。物と物が擦れ合うことで、そこにはどうしても細かな傷が発生してしまいます。カーシャンプーを使用することで、それが潤滑剤的な役割をすることは確かですが、それでも目に見えないほどの小さな擦り傷というのはどうしてもついてしまいます。この洗車による擦り傷は「ヘアースクラッチ」と呼ばれるもので、ボディに太陽の光などがあると、円心状になった無数の擦り傷が確認できるといいます。

もちろん、新車の時のボディにはヘアースクラッチなどは無いので、これらはクルマのオーナーが自ら洗車やワックスがけをするたびに発生させていたこととなります。洗車やワックスがけによるスクラッチといってもごくわずかなものなので、通常は全く気がつかない程度のもので、ところが、これを何度も何度も繰り返すことで、どんどん細かな擦り傷が蓄積されていくのです。また、ヘアースクラッチがどんどん増えることによって、その部分に汚れが付きやすくなります。新車の頃に比べて、クルマが汚れやすくなったと感じたら、それは洗車やワックスがけによって発生したヘアースクラッチが原因かもしれません。

ヘアースクラッチを消す方法もあります。カー用品などでヘアースクラッチを消すことのできる商品も販売されています。もっともポピュラーなのは、コンパウンド系の補修材。傷を補修するというよりも、研磨剤によって塗装面全体を薄く削り取り、傷そのものを目立たなくさせるためのものです。そのようなものを使用すると、一見傷が消え、キレイになったように見えますが、塗装面のクリアが薄くなってしまい、塗装面が弱くなってしまいうためオススメはできません。



↑カーシャンプーはボディカラーによって種類が異なるので適正なものを選ぶ。

2 カーシャンプーはボディを痛める??

洗車の際に、カーシャンプーを利用する人も多いと思います。カーシャンプーを使うことで、ボディとスポンジの間の潤滑剤のような働きをしますし、界面活性剤の効果で汚れを浮かせて落としやすくする効果もあります。

しかし、カーシャンプーにはそういったメリットがある反面、使い方によってはボディを痛めてしまうというデメリットもあるので、カーシャンプーを使ったあとの洗い流し方が不十分だと、界面活性剤の影響により塗装を痛めてしまうことがあります。

実際にカーシャンプーが原因で、塗装面がシミになってしまうというトラブルも少なくありません。炎天下でカーシャンプーを使って洗車をする、まだ洗い流しをしていないところが乾燥してしまうことがあり、これがボディを痛める原因になるわけです。また、車を購入した際に、ボディコーティングをしてもらったりすることがありますが、カーシャンプーを使うことでコーティングの効果を失ってしまうこともあります。ボディコーティングを施工したクルマは、軽い水洗いのみでOK、カーシャンプーもワックスもNGであるということは覚えておくのと良いかと思えます。

3 まったく洗車をしないとどうなるの？

20年~30年以上前のクルマであれば、屋外駐車でも普段まったく手入れをしない状態で10年も乗っていると、明らかに塗装が痛んでつやがなくなることがありました。ひどいものになると、手で触ると塗装の色が手に付いたりするようなこともありました。これをチョーキングといいます。最近ではそういった車を見かけることはほぼなくなりました。

最近のクルマは塗装の技術が大幅に向上しており、10年近く一度も洗車やワックスがけをしたことのないクルマであっても、明らかな塗装面の痛みというのは感じにくくなっているようです。洗車やワックスがけの回数が少ないことによるマイナスの影響は、一昔前のクルマよりもなくなりました。

ただし、普段あまり洗車をしない人であっても、鳥の糞だけは確実に取っておくようにしましょう。鳥の糞はかなり強い酸性なので、そのまま放置すると確実にボディを痛めてしまいます。場合によっては、鳥の糞を数時間放置しただけで、塗装に影響が出てしまうこともあります。ボディに鳥の糞が付いてしまった!と思った際はすぐに洗い流すことをオススメします。

洗車が趣味という方も多いのではないのでしょうか?きれいに洗車をしてピッカピカにワックスがけをしたクルマに乗るのは気持ちがいいものです。また、汚れたクルマを洗車することで見違えるようにきれいになると、何とも言えない達成感があると思います。しかし、あまり頻繁に洗車やワックスがけをすると、かえってクルマのボディを痛めてしまう可能性があるのをご存知ですか? 今回のくるまのざつがくでは、頻繁に洗車をするによって起こるボディへのダメージについてご紹介していきたいと思います。



↑ヘアースクラッチはクルマを所有すれば必ず起きてしまうようなもの。



↑鳥の糞は尿酸やアンモニア、ナトリウムなどを含んでおり、生息地によって異なるが酸性やアルカリ性の性質を持っている。油分を含んでいるので塗装に染みこみやすく、放置すると蒸発して固まってしまうのですぐに洗い流そう。